

J u n i o r
C h a m b e r
International
Nishinomiya
7 0 t h

一般社団法人西宮青年会議所
70周年記念冊子

これまで以上の感動を これからのアイディアで

「第二次世界大戦後の混乱をのりこえて、明るい豊かな社会を自分たちの手で築き上げたい。」と西宮の志高き青年達が立ち上がり、西宮青年会議所が設立されてから70年が経ちました。西宮市内で1,143人もの尊い命を奪った阪神・淡路大震災や、社会を大混乱に陥れた経済危機等、多くの困難を乗り越えてきた西宮青年会議所ですが、70周年の大きな節目を迎える本年は、新型コロナウイルス感染症の留まるところを知らない感染拡大という未曾有の危機を迎え、組織としての在り方さえも揺るぎかねない苦境に直面しています。

そのような中でも、我々西宮青年会議所の運動を止めず、明るい豊かな西宮のまちを創り上げていくために、新たな形でお世話になった方々への感謝を顕し、これからも力強く歩み続けていく決意と覚悟を伝えるべく、70周年記念番組及び70周年記念特設ホームページの制作という新たな試みを全会員一丸となって築き上げて参りました。過去、現在、未来の、西宮青年会議所に関わる全ての方々に、70周年の節目の年を担う私達の想いを届けます。

QRコードを読み込むと、2020年10月29日に放送しました「70周年記念番組」の中から、本冊子のそれぞれの内容に関連したシーンをご視聴いただけます。



目次

ご挨拶・目次	2	フォトギャラリー	15
理事長挨拶・実行委員長挨拶	3	委員長紹介2020	19
祝辞	4	スタジオキャスト百面相	20
姉妹JCからの祝辞	7	モニュメント贈呈 編集後記	21
70年のあゆみ	9	2020年代運動指針骨子	22

70周年を迎えて

Salutations for our 70th anniversary

一般社団法人西宮青年会議所
第70代理事長

五味岡 龍

Ryu Comika



「明るい豊かな社会を自分たちの手で築きあげたい」と西宮の青年たちが立ち上がり、1950年認証番号5番として誕生した当時の西宮青年商工会議所は本年創立70周年を迎えました。創始より今日の発展にまでご尽力いただきました先輩諸氏に敬意を表し、我々の今までの運動にご支援、お力添えを賜りました関係各位に厚く御礼申し上げます。

西宮青年会議所は長い歴史の中で事実上正面から立ち向かい誠実に対応し、課題解決に情熱をささげ取り組んでまいりました。JC運動を展開し始めたころと比べると日々の生活が豊かになったのは、我々青年がいつの時代も明るい豊かな未来を語り実現に向け行動してきた成果です。混乱の渦に巻き込まれた本年、創始の気概を受け継ぐ我々の具体的な行動が必要とされ真価が問われました。困難な局面を迎えたときこそ原点に返り目的に沿って行動することができたのは、創始の精神を紡いでいる青

年会議所だからこそ成しえたと考えています。

この先も驚くほどのスピードで社会背景が変容してくことは容易に想像が付きまします。不透明な未来に向けて大切なのは多くの人が共感できる決断をすることであり、地域のリーダーとして求められる資質です。多様性を認め合う時勢において属する組織に垣根を作らず社会を広く捉え共創をリードしていかなければなりません。

これまでの歴史を紡ぎ創始の精神を胸に刻み続け、地域や市民を巻き込んだ運動を展開し更なる修養に努める所存です。多くの方々がより幸せを感じる未来を創りだす西宮青年会議所にご期待をいただき、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



周年記念番組冒頭のメッセージ

一般社団法人西宮青年会議所
70周年実行委員長

岩本 健熙

Kenki Iwamoto



創立70周年を迎えた本年、私たちは70年という悠久の時に繋かれたバトンを受け、先達の教えを顧み、未来に向けて新たな一歩を進み出す機会を得ることができました。

本年2月9日に開催しました70周年記念事業「西宮花火大会2020～忘れない、いま私たちにできること～」では、様々な困難があり、心配をおかけすることもございましたが、先輩諸氏をはじめとする多くの方々の心温かいお言葉、多大なるご支援、ご協力を持ちまして、私たちの描く未来へ向けた運動を発信することができました。

奇しくも春が訪れる前に新型コロナウイルス感染症の被害が拡大し、私たちの生活はもとより青年会議所活動も大きく影響を受け、これまでの常識は変化し、青年会議所活動の是非について苦悩する

日々もありました。しかし、未来をより明るい方へと動かしていく私たちの活動は決して歩みを緩めるものではないと信じ、「できない」で思考停止することなく、「できる方法を考えよう」と模索し、この周年という大きな節目に訪れた境遇に対し、変化に対応するためのマインドセットと行動力をもって一歩ずつ踏み出して参りました。

私たちは、この70周年という機会を得たものを活かし、さらに輝かしい未来を創るため、青年会議所で過ごす限られた時間の尊さを心に留め、地域の皆様や志を同じくする仲間、これからを生きる子供たちと共に、次なる歩みを進めて参ります。

どうぞ引き続きのご指導、ご鞭撻、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

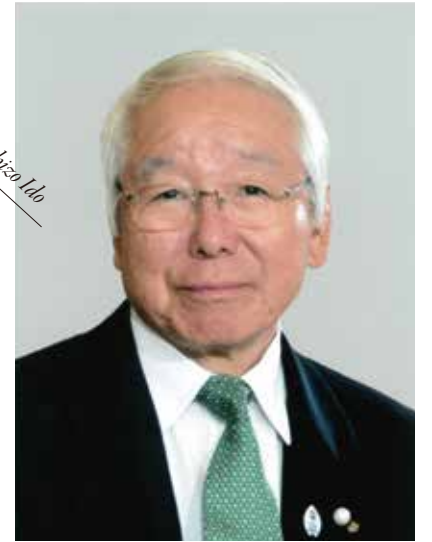
祝辞

Congratulations

兵庫県知事

井戸 敏三

Toshio Ido



一般社団法人西宮青年会議所 創立70周年を祝して

一般社団法人西宮青年会議所が創立70周年を迎えられました。心からお喜びします。

創立以来、「修練・奉仕・友情」の三信条のもと、会員相互の親睦と研鑽を図りながら、青少年の健全育成やまちの魅力づくりなど、多彩な取り組みを展開してこられました。

特に、平成30年には阪神・淡路大震災によって長らく中断されていた花火大会を、多くの市民や企業の協力を得て24年ぶりに復活。西宮のまちに新たな活力と元気を生み出されました。

また、このたびのコロナ禍では、感染予防策の周知・啓発や、飲食店への先払い応援プロジェクトの実施など力強い活動を展開されています。

明るく豊かな社会の実現をめざし、意欲あふれる活動を続けられている皆様に、心からの敬

意と感謝の意を表します。人と人がつながり、互いに支え合って生きる。私たちは、25年前の阪神・淡路大震災からの復興の歩みのなかで、そして外出自粛等を余儀なくされたこのコロナ禍で、その大切さを学び、実感しました。

それだけに、人のつながりを大切にしながら、地域の活性化に取り組んでこられた皆様には大きな期待を寄せています。これからも、先達の築き上げた伝統をしっかりと受け継ぎ、地域の若きリーダーとして一層活躍してください。ともに力をあわせ、地域に夢や希望が広がる「すこやか兵庫」を実現していきましょう。

一般社団法人西宮青年会議所のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝でのご活躍を心からお祈りします。

西宮市長

石井 登志郎

Toshiro Ishii



創立70周年を祝して

一般社団法人西宮青年会議所が、創立70周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、昭和25年の発足以来、明るい豊かな社会の実現を目指し、地域の若きリーダーとして、青少年の健全育成や国際交流事業をはじめ、様々な活動を展開してこられました。また、今般の新型コロナウイルスの影響で社会全体が不安に包まれる中、甲子園名物の「人文字」を復活させ、市民にエールを送る皆様の取り組みは、まさに全国に明るい話題を届け、未来への希望を照らすものであると存じます。皆様の取り組みに敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

さて、本市が掲げる「文教住宅都市」の魅力により一層高めていくためには、行政だけでなく、

市民や事業者の皆様とともに手を取り合い、皆が一体となり西宮のまちを盛り上げていくことが重要となります。こうしたまちづくりの推進にあたり、柔軟な発想や行動力を備えた地域の若きリーダーである皆様のご協力が不可欠でございます。すべての市民の皆様が明るく未来に希望を抱く、活気にあふれた西宮のまちを創っていくために、皆様におかれまして、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この70周年を契機として、長年にわたる実績と伝統の上に、さらなる輝かしい歴史を刻まれるとともに、皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



西宮市長へのインタビュー

祝辞

Congratulations



Masafumi Ishida

公益社団法人日本青年会議所
第69代会頭

石田 全史

この度、一般社団法人西宮青年会議所が創立70周年の佳節を迎えられますことに、衷心よりお喜びを申し上げます。創立から今日に至るまでご尽力されてこられました先輩諸兄姉の皆様のご功績に敬意を表するとともに、その誇り高き「志」を受け継ぎ、自己の修練と社会への貢献に邁進されております、現役会員の皆様にお祝いを申し上げます。

70年前の設立当時の創始の精神から、これまでの歴史を振り返る。そして地域の明るい未来について考え、今起きている変化を起点に新しい社会を切り拓く節目となる年に、その灯を絶やさず青年会議所運動の展開に邁進されております皆様のご活動とご功績に敬意を表する次第でございます。目まぐるしく情勢が変わりゆく中だからこそ、社会に大きなインパクトをもたらす運動が、これからは全国各地で求められます。青年会議所にとって一つの転機である節目の年には、これまでの運動を検証した上で、共感をもたらす中・長期的なビジョンを描くことが必要であります。魅力あるビジョンは

たくさんの若者に夢と希望を与え、誰からも求められる魅力ある組織へと進化することができます。私たちの運動の成果を最大限に発揮するとともに、あらゆる運動において多くの共感を集めることが組織の拡大につながり、より盤石な組織体制を構築することができるのです。挑戦する前から無理だと決めつける、そのような先入観は捨て、大きな夢を語り、仲間を集めて、共に未来を創りましょう。自分の信じた道を貫くことが「真実一路」であり、奇跡とは努力と挑戦の連続の先に起きる成果であります。我々は、必ずより良い変化を起こすことができるのです。

結びに、西宮青年会議所のますますのご発展と会員の皆様のご活躍、さらには皆様の運動が、愛する地域において素晴らしい成果が発揮されますことを心より祈念申し上げます。

真実一路 軌跡を紡ぎ、奇跡を起こそう！

石田 全史会頭からのメッセージ



Arata Nishida

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区協議会 2020年度 会長

西田 新

この度、一般社団法人西宮青年会議所が創立70周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。平素より公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会の運動に多大なるご理解、ご協力をいただいておりますことに深く感謝致します。また、昨今の新型コロナウイルス禍のなか、地域における支援事業の実施及び構築に向けてご尽力いただいておりますことに敬意を表します。本年度、一般社団法人西宮青年会議所が理事長 五味岡 龍 君のもと、『先見之明～独創をつなぎ共創で挑む～』のスローガンを合言葉に、地域の様々な課題を解決するために、責任世代のリーダーとして積極果敢に挑戦され、持続的なインパクトを地域社会に与える

運動が展開されますことを、改めてご期待申し上げます。

本年、当協議会では、「あらゆる個性と美意識が結びつく近畿の実現」を基本理念に掲げ、近畿地区内94青年会議所の同志の皆様と共に笑顔で生きがいを持てる社会を実現するために、地域に根差した運動を展開してまいります。今後とも、変わらぬ協議会へのご理解、ご協力をいただけますと幸いです。

結びに、貴青年会議所の益々のご発展と先輩諸兄姉並びに現役会員皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所
近畿地区兵庫ブロック協議会
2020年度 会長

今井 章仁



Akihiro Imai

新型コロナウイルスの影響により、事業の中止や延期を余儀なくされ、悔しい思いをされたことと思います。しかしながら、阪神淡路大震災から25年経った今、あの経験を風化させまいと行った花火大会や高校野球が中止になるなかで行った甲子園での「人文字」など、「今自分たちにできること」をしっかりと考えられ、運動を止めることなく活動されております。その姿勢は同志である県内24LOMのメンバーに対し大変励みになっています。

今後も貴青年会議所が70周年を機に、新たな素晴らしい歴史を築かれ、さらなるご発展を遂げられますこと、並びに先輩諸氏の皆様、現役会員の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

西宮青年会議所 OB会 会長

前田 裕司



Hiroshi Maeda

日であったと推察しております。二月西宮浜での花火大会、八月甲子園球場での人文字、その他いろいろな事業が実施に至るまでの過程で熱い思い、意義を考えていきたいと思ひます。

よどみのない毎年つくられる新しい組織、若い力は、今日の西宮のまちづくりの大きな一助となっておるものと確信しております。

将来にむけ、今後もJC三信条のもと、綱領の高い理念は受け継がれていき、毎年の現役会員の活動にOB会として大いに期待をし、そして関係各位の末永いご支援をお願いする次第です。

そして、日本に青年会議所運動がはじまって以来、70年継続されている事に対し、共に祝いしたいと思っております。

五味岡龍理事長を始めとされます一般社団法人西宮青年会議所メンバーの皆様、そしてこれまで70年間に亘り西宮青年会議所と地域に対して様々な方面でご尽力されてこられた特別会員の皆様、創立70周年誠におめでとうございます。

貴青年会議所はチャーターLOMとして、また全国で5番目の青年会議所として、創立以来兵庫ブロック協議会をはじめ近畿地区協議会日本青年会議所へ数多くの役員や出向者を輩出し、JC運動を牽引してこられました。その貢献への感謝は言葉にし得ません。

本年度、理事長が掲げられた『先見之明～独創をつなぎ共創で挑む～』のスローガンのもと地域のため、市民のために日夜、運動活動にご尽力されていることに敬意を表します。本年は

まず、本年コロナウイルスに感染された方々、不幸にも亡くなられた方々、そしてそのご家族に深くお見舞い申し上げます。

この様なコロナ渦の中、通常の形とはちがうにせよ、70周年を記念することができましたこと、OB会を代表いたしまして、改めて感謝する次第です。

毎年々々、現役会員一人一人がそれぞれの立場を認識し、自己修練を重ねながら、青年会議所運動に取り組んで参りました。そしてその結果として、本年70年を迎えることとなりました。

とりわけ、本年現役会員はかつて誰も経験したことの無い社会状況、環境の中で、手さぐりでどのような活動ができるのか、本当に苦悩の毎

姉妹JCからの祝辞

Congratulations from our sister chapters

国内姉妹JCのご紹介



一般社団法人函館青年会議所 第70代理事長

上原 亮太

Ryota Uehara



この度は一般社団法人西宮青年会議所が創立70周年の記念すべき年を迎えられました事に心よりお慶び申し上げます。重ねて五味岡理事長を始めいたしますメンバーの皆様、これまでの輝かしい歴史と伝統を築いてこられた先輩諸兄の皆様にご心より敬意を表します。

西宮青年会議所と、函館青年会議所は姉妹締結をして今年で11年目を迎えます。昨年は姉妹締結から10年という節目の年に『姉妹締結10周年記念式典』を西宮の地で開催していただき改めて姉妹LOMとしての重要性を再確認することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

一般社団法人浪江青年会議所 第41代理事長

鈴木 一成

Kazumari Suzuki



一般社団法人西宮青年会議所が創立より70周年の節目を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。そして、創立から今日に至るまで地域社会の発展にご尽力されてこられた先輩諸氏の皆様と地域により良い変化をもたらすための自己研鑽と社会貢献に邁進されております会員の皆様にご敬意を表します。

2011年東日本大震災並びに東京電力福島第一原子力発電所事故により、私たちの故郷は自由に立ち入ることできない地域に指定され、これまでの生活が一変しました。JC活動はおろか、先行きの見えない状況にあった当時、阪神・淡路大震災の被害から見事な復興を成し遂げた、貴青年会議所からの温かいお心寄せ、そして多大なるご支援

南双葉青年会議所 第36代理事長

水野 智史

Satoshi Mizuno



一般社団法人西宮青年会議所の創立70周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

創立70年に至る歴史を紡ぎ、地域を想い地域の発展にご尽力されてきた歴代理事長をはじめとする諸先輩と高い志を受け継ぎ、今なお力強く運動を展開されている現役メンバーの皆様にご敬意を表します。

1995年、阪神・淡路大震災で甚大な被災を受け、活動エリアが大きな影響を受けることとなった貴青年会議所と、私達と同じく2011年、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故により活動エリアが被害を受けた、浪江青年会議所とともに当時全国からいただいた多大なるご厚志に報いたいと願い、姉妹締結をし

本年は新型コロナウィルスが蔓延し、これまで当たり前だったものが当たり前ではなくなり、様々な面で変化を余儀なくされています。我々の活動も例外ではありません。しかし、どんな逆境においても、あきらめるのではなく、自分たちに何かできることはないかと、もがき、行動し続けることが我々青年会議所の使命だと考えています。

こんな時代だからこそこれからも姉妹JCとして助け合い、協力しあい、そして尊敬しあえるそんな関係性でありたいと思っています。

最後になります。一般社団法人西宮青年会議所の益々のご発展を祈念いたしまして簡単送辞でございますが、お祝いの挨拶とさせていただきます。

ご協力を頂いて国内姉妹締結を結んだ2012年から9年。当時の我々にとってこの上ない安心感と喜び、そして何より復興に向けた強い決意が芽生えたことを鮮明に記憶しております。

本年、新型コロナウイルスの影響で社会・経済情勢が大きな変化をする中『先見之明～独創をつなぎ共創で挑む～』のスローガンを掲げられた理事長五味岡 龍君の卓越したリーダーシップは、必ずやニューノーマルな社会変化にも柔軟に対応し、会員の皆様の自己成長と地域社会発展に繋がる起点となると確信しております。未来永劫、姉妹青年会議所として心を寄せ合い、共に切磋琢磨しながら成長できる友好を築いてまいりましょう。

結びに、創立70周年を迎えられた貴青年会議所の益々のご発展と先輩諸氏の皆様、そして現役会員の皆様のご活躍を祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

た2012年から8年。

2011年当初、活動エリアからの避難指示により、会員の減少、存続さえも危ぶまれていた私達青年会議所を温かい言葉、多大なるお気持ちを頂きましたこと、改めて御礼申し上げます。

昨今、新型コロナウィルス禍の中でも、『先見之明～独創をつなぎ共創で挑む～』のスローガンのもと、様々な可能性を導きだし、活動されていることは私達南双葉青年会議所としても大きな刺激となっております。

結びとなりますが、貴青年会議所と姉妹青年会議所として、これからも共に心を寄せ合い、お互いに刺激し合う友人であり続けたいと願い、貴青年会議所のさらなる発展と地域活動においてすばらしい成果を出されること、そしてメンバー皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

“JCI Nishinomiya 70th Anniversary:
The Hope of Hyogo & Japan”

It is my pleasure to congratulate my brother, President Gomioka Ryu as the new leader & champion of the strong legacy of JCI Nishinomiya. To be the torch bearer of the Home of Hanshin Tigers & the icon of hope to Hyogo Prefecture is both an honor, responsibility & by no means a light task to be bestowed upon any leader.

As a witness to his humility & capabilities myself, I believe that under the steady leadership of President Gomioka Ryu, JCI Nishinomiya will be ever victorious in the face of challenges confronting the youths today. As it is the spirit that powered JCI Nishinomiya to achieve its current height & might in the JCI world & local community, so it is the same spirit that will propel momentous achievements far into the future for generations to come.

As with any successful organizations, the greatest is its members. Yes, you the members who are reading this message. Because of you, JCI Nishinomiya is able to create massive impact in your community which you live in through award winning projects like Sakimeshi Project (impacted local restaurants affected by COVID-19), Fireworks Festival, Hitomaji Project (Health & Well-being of JCI Members & Volunteer Citizens). Everybody counts & it all began with you, the members. Stay strong, stay united.

「西宮JCの70周年記念：兵庫と日本の希望」

西宮JCの偉大な遺産を受け継ぐ新しいリーダー、そしてチャンピオンとして、親愛なる五味岡理事長を祝福することができると嬉しく思います。阪神タイガースの本拠地でもあり、兵庫県の希望の象徴の一つである西宮のリーダーとなることは、名誉であるとともに責任も重大であり、誰にでも与えられる軽い任務では決してありません。

彼の謙虚さと有能さの証として、五味岡理事長の着実なリーダーシップの下で、西宮JCは、今日の若者が直面している課題に対して勝利を取ることができると信じています。西宮JCが、世界や地域社会における現在の地位と力を成し得たのは、その精神によるものであり、これからの世代に向けて大きな成果を上げることでしょう。

成功した他の組織と同様に、最大の贈り物はそのメンバーです。そうです。このメッセージを読んでいるメンバーの皆様です。皆様のおかげで、西宮JCは、さきめしプロジェクト(COVID-19の影響を受けた地元のレストランに関する事業)、花火大会、人文字プロジェクト(メンバーやボランティア市民の

Hello Everyone, This is Ross Chan from JCI Dragon in Hong Kong. In this special occasion, I am delighted to congratulate JCI Nishinomiya on its 70th anniversary.

Since 1950, JCI Nishinomiya has been creating positive change to by providing sustainable solutions to local different challenges. Lots of meaningful projects are created to realize JCI vision and mission, and united your members and sister chapter like us, by the continuous contribution to youth development. It has also been providing opportunities to thousands of young people developing their talents and exploring the world. The achievement is extraordinary.

2020 is an incredible year of JCI Hong Kong and JCI Dragon, as it is the 70th and 40th anniversary of us. In every celebration of our anniversary, it specifically reminds us of our deep bonding. We are grateful always having support from President 五味岡龍 and Director Board, and creates lots of meaningful project. Like Youth Can Code, we had Hackathon competition by livestreaming; we have student exchange last year with secondary students from Japan and Hong Kong, sharing technology learning experience. We also glad to have JCI Nishinomiya visiting Hong Kong last year, to get

皆様こんにちは、香港のドラゴンJCのロス・チャンです。西宮JC創立70周年という特別な機会にお祝いを申し上げます。

1950年の設立以来、西宮JCは、地域の様々な課題に対して持続可能な解決策を提供することで、ポジティブな変化を生み出してきました。JCIのビジョンとミッションを実現するために、多くの有意義な事業が生み出され、青少年の育成に継続的に貢献することで、メンバーの皆様と私たちのような姉妹LOMが結束してきました。また、多くの若者の才能を開花させ、世界を知る機会を提供してきました。その功績は並々ならぬものがあります。

2020年は、香港JCとドラゴンJCの70周年と40周年という記念すべき年です。私たちの記念日を祝うたびに、私たちの深い絆を思い起こさせてくれます。五味岡龍理事長や理事会の※ハッカソン マラソンのように長時間かけてプログラミング開発をし、アイデアや成果を競うイベント。

JCIクアラルンプール(マレーシア)
第66代理事長

Damian Thomas Khaw Lok Juang

许禄莊



I'm also especially happy to witness the steady growth of female members in JCI Nishinomiya. In accordance to United Nations Sustainable Development Goal 5: Gender Equality, JCI Nishinomiya has been a strong advocate, especially on target 5.5: Ensure women's full and effective participation & equal opportunities for leadership at all levels.

As the sister chapter of JCI Nishinomiya, words cannot describe our joy & pride to your current growth, passion & humility. JCI Kuala Lumpur will always be here to support & collaborate till the end of time. We believe you are in the right direction. The best part is, this is just the beginning.

God bless & may you have another exciting & fruitful 10 years ahead!

健康や福祉に関する事業)などの素晴らしいプロジェクトを通じて、皆様の住む地域社会に大きな影響を与えることができています。誰もが重要であり、メンバーの皆様から始まったことのなのです。強くあり、そして団結してください。

また、西宮JCにおいて、女性メンバーが着実に成長していることを目の当たりにし、とくに嬉しく感じています。国連の持続可能な開発目標5:ジェンダー平等に従い、ターゲット5.5:完全かつ効果的な女性の参加と、政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルのリーダーシップの機会均等を確保することを、西宮JCは強く主張してきました。

西宮JCの国際姉妹LOMとして、皆様の現在の成長、情熱、謙虚さに、私たちの喜びと誇りは、言葉では言い尽くません。クアラルンプールJCは、いつでも西宮JCを最後までサポートし、協力するために、ここにあります。私たちは皆様が正しい方向に向かっていくと信じています。最も良いことは、これはほんの始まりに過ぎないということです。

皆様のご多幸と10年先も楽しく実り多いものとなりますように!

JCIドラゴン(香港)
第40代理事長

Ross Chan

ロス・チャン



know of each other's culture and exchange ideas. We always impressed by the entrepreneurial spirit and the sophistication of JCI Nishinomiya, you guys proven that young generate is powerful to transform the society.

JCI Dragon keenly look forward to witnessing the continuous achievements of JCI Nishinomiya, and of course more amazing project with us. I would also like to convey my warmest wish for every success to President and his Director Board.

Shall us again commend JCI Nishinomiya on reaching its 70th anniversary and wish you well in celebrating this milestone.

サポートがあることに感謝し、多くの有意義な事業を生み出しています。“Youth Can Code”のように、ライブストリーミングによるハッカソン大会を開催したり、昨年は日本と香港の中学生との学生交流会を開催し、技術学習の経験を共有したりしました。また、これまでも西宮JCが香港を訪問し、お互いの文化を知り、アイデアを交換することができました。西宮JCの起業家精神と洗練された行動力にはいつも感心させられており、若い世代が社会を変える力を持っていることを証明してくれました。

ドラゴンJCは、西宮JCの継続的な成果を目の当たりにすることを楽しみにしています。もちろん、私たちと一緒にさらなる素晴らしい事業に取り組んでいきたいと思っています。また、理事長と理事会の皆様のご成功を心よりお祈り申し上げます。

重ねて西宮JCが創立70周年を迎えられたことを称え、皆様のご活躍を祈念して、この節目のお祝いをさせていただきます。

70年のあゆみ

70 years of history

西宮青年会議所の歴史



1950年 昭和25年

6月 設立世話人懇親会、第1回発起人会開催
7月 設立総会、発会式挙行(西宮市民会館)
8月 第1回臨時総会開催
定款の承認
阪神盆踊競演大会開催(香伊園海水浴場)
11月 第1回物価調査実施



1951年 昭和26年

初 松本 国春

2月 日本青年会議所発足
9月 第2回定時総会開催
名称を「西宮青年商工会議所」と変更



1952年 昭和27年

2 八木 弦三郎

4月 JCIアジア大会関西プログラムを担当
11月 秋季運動会実施(琵琶湖めぐり)
12月 京都、大阪、西宮3JC親睦会野球大会開催



1968年 昭和43年

18 松井 敏夫

5月 チャリティージャズコンサート開催
11月 第7回母子寮の子供バスツアー招待
12月 第18回近畿地区大会開催地に決定



1969年 昭和44年

19 磯野 五郎

3月 第1回夫人の集い開催
5月 第18回近畿地区会員大会実行委員会発足
11月 近畿地区大会準備のため事務局移転



1970年 昭和45年

20 中尾 公宣 (誠男)

10月 創立20周年記念大会開催(市民会館)
11月 クアラ・ルンプールJCとの姉妹締結
姉妹青年会議所登録認証(第58号 日本JC)



1953年 昭和28年

3 北本 正

2月 地域別理事設置(理事会決定)
8月 名称を「西宮青年会議所」に変更
11月 日比児童交換展覧会開催(西宮市民会館)



1954年 昭和29年

4 八木 弦三郎

4月 第1回近畿地区会員大会参加(主管:大阪JC)
7月 近畿地区JC野球大会 主催
長部正雍君 日本JC常任理事就任



1955年 昭和30年

5 長部 文治郎 (正雍)

4月 西宮市より事業補助金10,000円交付される
5月 第2回近畿地区大会 参加
7月 第6回定時総会開催



1971年 昭和46年

21 白石 巖

3月 阪神6JC合同例会 主管
8月 陸上自衛隊1日体験入隊(伊丹自衛隊)
10月 スポークン市長来訪



1972年 昭和47年

22 中村 淳太郎

2月 第3回西宮青少年健全育成研究会開催
9月 JCデー「ヤングフェスティバル」開催
11月 クアラ・ルンプールJC来訪



1973年 昭和48年

23 五十嵐 賢彌

8月 芦屋JC創立総会式典参加
市政懇談会開催
9月 JCデー開催(西宮戒神社)



1956年 昭和31年

6 長部 文治郎 (正雍)

5月 第3回近畿地区理事長会議を主管
8月 会員親睦会実施(六甲山登山)
12月 クリスマス児童祭開催



1957年 昭和32年

7 長部 文治郎 (正雍)

3月 西宮市より事業補助金10,000円交付される
5月 定時総会開催
6月 国際児童画展開催



1958年 昭和33年

8 長部 文治郎 (正雍)

2月 布施JC来訪、交換会開催
11月 近畿地区協議会を主管
町を少しずつにする運動に協賛



1974年 昭和49年

24 稲鍵 雄康

5月 スポークンJCとの姉妹締結
姉妹青年会議所登録認証(第92号日本JC)
9月 兵庫ブロック重点事業推進賞受賞



1975年 昭和50年

25 水巻 清

2月 市長候補を囲む意見交換会開催
3月 新入会員オリエンテーション開催
7月 創立25周年記念式典開催



1976年 昭和51年

26 青木 靖彦

5月 クアラ・ルンプールJCとの公式会議開催
スポークンJC公式訪問
12月 傀儡師像除幕式参加(産所町電話局前)



1959年 昭和34年

9 長部 文治郎 (正雍)

3月 市内在住大阪JCメンバーとの懇親会開催
10月 西宮市より事業補助金10,000円交付される
伊勢湾台風救援物資寄贈



1960年 昭和35年

10 長部 文治郎 (正雍)

3月 加古川JC来訪、交歓会開催
8月 西宮少年防犯野球大会に協賛
12月 刃物追放運動主催、市内パレードを実施



1961年 昭和36年

11 長部 文治郎 (正雍)

3月 大阪・神戸・西宮JC合同例会開催
4月 創立10周年記念座談会開催
12月 記者クラブ懇談会開催



1977年 昭和52年

27 太田 博

8月 ジュニアキャンプ開催(ハチ北高原)
11月 西宮職員、役員との懇談会開催
12月 西宮市管理職組合幹部との懇談会開催



1978年 昭和53年

28 當麻 壽男

1月 伊藤信吾君、兵庫ブロック協議会会長に就任
4月 子供交通安全セミナー開催
9月 兵庫県よりくすの木賞受賞



1979年 昭和54年

29 伊藤 信悟

3月 サッカー教室「釜本監督を囲んで」開催
6月 スポークン、西宮合同会議(オアフ島)開催
8月 西宮市より市民まつり協賛金100万円交付される



1962年 昭和37年

12 伊藤 精三

1月 長部正雍君、日本JC副会頭に就任
7月 JC事務局開局
8月 第1回母子寮の子供バスツアー招待



1963年 昭和38年

13 山北 直義

1月 JC専用電話開通
5月 市政記者クラブとの懇親会開催
11月 西宮文教住宅都市宣言式典出席



1964年 昭和39年

14 山村 武

6月 スポークンJCメンバー来訪
新潟大地震見舞金送金
12月 「よい子作り運動」協賛、自転車パレード参加



1980年 昭和55年

30 松本 源也

4月 市民まつり開催地が西宮球場周辺に決定
兵庫ブロック新入会員セミナー主管
30周年記念式典開催(武庫川学院)



1981年 昭和56年

31 前田 容洋

6月 「マザーテレサとその世界」映画と
講演の集い開催(西宮市民会館)
7月 経営シンポジウム参加(宝塚ホテル)



1982年 昭和57年

32 米富 則幸

7月 教育シンポジウム開催(西宮市民会館)
8月 西宮市民まつり開催
9月 LD道場実施(自衛隊体験入隊)



1965年 昭和40年

15 木村 泰夫

2月 市政記者クラブとの懇親会開催
4月 西宮市制40周年式典参加
5月 神戸銀行に当座預金口座開設



1966年 昭和41年

16 長部 二郎

3月 西宮養護学校訪問
事務局移転で西宮商工会館へ
8月 納涼家族例会開催(アサヒビール西宮工場)



1967年 昭和42年

17 光山 二郎

5月 家族会開催
米国総領事館夫妻、市長夫妻招待
9月 JCデー行事「交通安全市中パレード」開催



1983年 昭和58年

33 松本 千歳

6月 地方リレーマラソン「北方領土を考える」参加
「酒の町西宮」を発売
8月 西宮市民祭りにて「雪まつり」を開催



1984年 昭和59年

34 辻 基夫

4月 クアラ・ルンプールJC主管アジアコンファレンス参加
5月 腎臓バンク運動展開「愛腎バンク運動」
11月 事務局 商工会館3階から5階へ移転拡張



1985年 昭和60年

35 浅尾 文昭

4月 西宮市制60周年記念式典参加
5月 35周年記念式典開催
7月 青少年ウォークラリー開催(甲山)

70年のあゆみ

70 years of history

西宮青年会議所の歴史



1986年 昭和61年

36 木下 雅勝

4月 第1回国際問題セミナー開催
10月 交通キャラバン隊「交通安全教室」開催
11月 弁論大会「高校生の主張」開催



1987年 昭和62年

37 星野 恒徳

7月 日中友好青年の翼「西宮号」中国表敬訪問
第1回都市フォーラム「我が町を考える」開催
8月 第20回兵庫ブロック会員大会主管(武庫川学院)



1988年 昭和63年

38 隔山 泰三

7月 「西宮ドリーム'88」開催
8月 手づくりログハウス完成、竣工式実施
11月 第1回日本の歌コンクール開催



2004年 平成16年

54 竹内 博

3月 クアラ・ルンプールJC
50周年記念式典及び理事長交代式への参加
11月 芦屋JCとの交流事業開催



2005年 平成17年

55 堤 隆裕

6月 創立55周年記念式典並びに祝賀記念パーティー
7月 国際アカデミー ホームステイ受け入れ
8月 県知事との懇談会開催



2006年 平成18年

56 二宮 明彦

3月 EWCエコトレード基金表彰式参加
8月 経営者育成セミナー開催
11月 世界会議LOMツアー・LOMナイト実施



1989年 平成元年

39 朝野 恒男

1月 星野恒徳君、兵庫ブロック協議会会長に就任
5月 クアラ・ルンプールJC歓迎会開催
6月 第2回日本の歌コンクール開催



1990年 平成2年

40 木嶋 一二

5月 ふれあいコンサートin'90開催
6月 40周年記念式典開催
9月 スポーケン市訪問



1991年 平成3年

41 前田 裕司

3月 第1回国際相撲大会開催
6月 日本の歌コンクール開催
都市フォーラム「新阪神間モダンイズムの可能性」開催



2007年 平成19年

57 藤谷 知之

4月 青少年育成ビジョン作成に関わる勉強会開催
7月 ハートフルキャンプ開催
9月 研修事業「ロバート議事法」実施



2008年 平成20年

58 高山 敬

5月 公開例会「今だから考えよう自分の夢・未来」
開催(講師:加賀屋克美氏)
10月 西宮市長選挙立候補予定者公開討論会開催



2009年 平成21年

59 平山 伸吾

1月 100%出席例会達成
4月 青春の居酒屋開催(西宮市立甲山自然の家)
7月 (社)函館青年会議所との姉妹締結



1992年 平成4年

42 濱口 和則

5月 国際わんぱく相撲フェスティバル開催
女子学生サミット開催
6月 都市フォーラム「人にやさしい街づくり」開催



1993年 平成5年

43 内田 澄生

5月 チビッコオリンピック開催
ASJEC(アジア青年経済人文化会議)開催
7月 座間味OAS(アウトドアアクションスクール)開催



1994年 平成6年

44 濱口 典俊

6月 第8回都市フォーラム開催
11月 ASJEC'94開催
JCI世界会議神戸大会「サンライズセミナー」開催



2010年 平成22年

60 平田 裕之

6月 ドラゴンJCとの姉妹締結
創立60周年記念式典・祝賀会開催
9月 函館にて創立60周年記念事業「西宮てらこや2010」開催



2011年 平成23年

61 鳴見 裕貴

6月 新会員1泊研修実施
8月 近畿地区大会西宮大会主管
10月 ジュニアタウンミーティング開催



2012年 平成24年

62 吉岡 政和

2月 浪江JCとの友好座談会開催
5月 西宮JC実施の領土・領海検定が産経新聞に掲載
10月 浪江JC・南双葉JCとの姉妹締結



1995年 平成7年

45 大川 雅司

1月 阪神淡路大震災 全国のJCメンバーが駆けつけ、
ボランティア活動がはじまる
日本JC震災対策本部が西宮JC事務局に設置



1996年 平成8年

46 坂本 浩孝

7月 まちづくりシンポジウム
「考えよう我がまちにしのみや」開催
9月 人形フェスティバル参加出演



1997年 平成9年

47 足立 昌彦

1月 まちづくり懇談会を開催し、西宮かるたを作成
12月 市民参加型障害者福祉推進事業
輪イ和イ広場への参加、協力



2013年 平成25年

63 大迫 康二

6月 ASPAC光州大会ジャパンナイトにブース出展
11月 「ふくしまの子供たちを甲子園に!プロジェクト」
開催
福島県の被災地に西宮の桜の苗木を植樹



2014年 平成26年

64 小林 望

7月 西宮市長と対談
函館JCとの姉妹締結5周年記念式典開催
8月 「見て!聞いて!歩いて!ふれ合って!~再興
2014~」開催 神戸新聞に併催される



1998年 平成10年

48 多田 昭宏

1月 阪神ボランティアサポート協会設立総会開催
5月 西宮くすの木会「第1回アジア体験事業」
フィリピンバザ地区ギマラス島シンカラン村派遣



1999年 平成11年

49 椿本 和生

1月 21世紀ビジョン会議開催
3月 まちづくり懇談会開催
7月 青少年検討会議・NGO連絡協議会開催



2000年 平成12年

50 篠原 正寛

5月 青少年プログラム開発会議実施
6月 50周年記念式典開催(6月3日 甲子園都ホテル)
9月 50周年記念事業環境セミナー開催



2001年 平成13年

51 白石 政嗣

8月 クアラ・ルンプールJCとの
国際交流事業の構築及び実施
夏の全国高校野球大会で西宮PR活動実施



2002年 平成14年

52 篠原 秀典

1月 会員拡大会議開催
4月 会員交流事業実施
9月 青少年開発プログラムに基づくキャンプ事業開催



2003年 平成15年

53 太田 寿長

4月 阪神7青年会議所交流事業主管
6月 青少年開発プログラム里山事業「蛍観察」開催
9月 在住外国人との市内観光交流事業開催

70年のあゆみ

70 years of history

歴代理事長への感謝状贈呈



2015年（平成27年） 第65代 理事長 松本 陽介

積小為大 ～感動から輝きへ～

- | | |
|---------------------------|--|
| 1月 新春賀会開催 定時総会開催 | 6月 阪神7青年会議所合同事業開催 |
| 2月 近畿地区兵庫ブロック協議会役員との懇談会開催 | 創立65周年記念式典並びに祝賀会開催 |
| 3月 兵庫県議会議員選挙西宮市選挙区公開討論会開催 | 産経新聞に65周年記事掲載 |
| 4月 お花見の開催 | 9月 福島からのRAINBOW～福島の魅力を発信～に参加 |
| 5月 第3回わんぱく相撲 西宮大会開催 | 10月 第40回にしのみや市民まつり2015に参加 |
| | 11月 SPOFES MEET UP～2015JCストークスフェスティバル～開催 |
| | 芦屋青年会議所との交流事業開催 |
| | 12月 卒業例会開催 |



社会情勢

- 第2次世界大戦終結から70周年
- 東京オリンピック(2020)における新国立競技場とエンブレムのデザインが白紙撤回
- 大阪都構想の是非を問う住民投票が大阪市の住人を対象に実施され、反対多数で否決
- 東京都渋谷区が同性カップルに「パートナーシップ証明書」を発行

2018年（平成30年） 第68代 理事長 森本 邦裕

Be Proud ～関心と関わりが組織とまちを変える～

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1月 新春賀会開催 定時総会開催 | 6月 第6回わんぱく相撲西宮大会開催 |
| 研修委員会、拡大育成委員会合同公開委員会開催 | 10月 香港ドラゴンJCとの国際事業を開催 |
| 3月 「親子で発見!～西宮の魅力体験ツアー～」開催 | 11月 まちづくり事業 |
| 西宮フレンテホールにて3月度公開例会開催 | 「西宮花火大会2018 ～愛のあるまち西宮～」開催 |
| 4月 西宮市長選挙立候補予定者公開討論会開催 | 12月 卒業例会開催 |
| 5月 JCカップU-11少年少女サッカー大会第3回西宮大会開催 | |



社会情勢

- 平昌五輪で日本として冬季最多の13メダルを獲得
- 西日本豪雨が発災
- 日産・三菱自動車会長のカルロス・ゴーン会長を逮捕
- 成人年齢を20歳から18歳に引き下げる改正民法が成立

2016年（平成28年） 第66代 理事長 吉住 正基

呼び覚ませルーツ ～新たなる誇り高きJAYCEEへ～

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| 1月 新春賀会開催 定時総会開催 | 8月 第98回全国高等学校野球選手権大会において |
| 2月 地球ウォッチングクラブにしのみや環境パネル展に | 西宮をPRする会の人文字事業に参加 |
| 西宮青年会議所賞を贈呈 | 9月 青少年事業 KIDSジャーナリスト募集～平和を伝えるのは君だ～ |
| 4月 熊本地震支援街頭募金活動実施 | を開催 |
| 5月 第4回わんぱく相撲 西宮大会開催 | 11月 まちづくり事業 市民のチカラが地域を変える！ |
| 8月 復興支援事業 西宮と福島の絆 | ～今、地方政治はこんなにアツい！を開催 |
| ～姉妹締結の原点～を開催 | 12月 卒業例会開催 |



社会情勢

- イギリスの欧州連合(EU)からの離脱が決定
- 熊本県を中心に熊本地震(マグニチュード6.5)発災
- 天皇陛下(当時)が象徴としてのお務めについての天皇陛下のおことばを表明
- 共通番号制度(マイナンバー)が運用開始
- 福島県沖地震が発災し、気象庁が東日本大震災の余震であると発表

2019年（令和元年） 第69代 理事長 星 嘉範

Nishinomiya Stories ～連綿と続く歴史の中で～

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1月 新春賀会開催 定時総会開催 | 9月 OB会、現役交流バスツアー開催 |
| 2月 なでしこホールにて2月度公開例会開催 | 11月 国際交流事業 ハロウィンナイトパーティー開催 |
| 4月 大異業種交流会開催 | 12月 卒業例会開催 |
| 5月 第7回わんぱく相撲西宮大会開催 | |
| JCカップU-11少年少女サッカー大会第4回西宮大会開催 | |



社会情勢

- 皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位し、元号が令和に改元
- ラグビーW杯日本大会が開幕し、日本が8強入り
- 消費税率が10%に引き上げられる
- テニスの大坂なおみ選手がアジア人選手として男女初の世界ランキング1位

2017年（平成29年） 第67代 理事長 北本 宝

勇往邁進 ～魂磨かざれば光なし～

- | | |
|---|-----------------------|
| 1月 新春賀会開催 定時総会開催 | 10月 第42回にしのみや市民まつりに参加 |
| 4月 国際姉妹JC関連事業 海を越えて花開く世界との友情 | 阪神7青年会議所10月度合同例会開催 |
| ～Cooperation generates firmer friendship～開催 | まちづくり事業 船坂竹灯籠開催 |
| 5月 JCカップU-11少年少女サッカー大会第2回西宮大会開催 | 衆議院議員総選挙兵庫県第7区立候補予定者 |
| 第5回わんぱく相撲西宮大会開催 | 公開討論会開催 |
| 9月 芦屋青年会議所との交流事業開催 | 12月 卒業例会開催 |
| 青少年事業 秋の収穫キャンプ！ | |
| 「食」を通じて社会の仕組みを学ぼう開催 | |



社会情勢

- ドナルド・トランプ氏がアメリカ合衆国大統領に選出
- 九州北部豪雨が発災
- 史上最年少プロ棋士の藤井聡太四段(当時14歳)が公式戦の新記録となる29連勝を達成
- 陸上男子100mで桐生祥秀選手が9秒台を記録

フォトギャラリー

Photo gallery

西宮青年会議所の活動



2020年 総務委員会
1月度例会 新春賀会

2017年 まちづくり委員会

船坂竹灯籠



2015年 総務委員会

兵庫県議会議員選挙 西宮市選挙区
公開討論会



2020年 総務委員会
日本を応援！『NO密』でつくる新しい人文字事業



2019年 青少年委員会
わんぱく相撲



2015年 復興支援事業

福島からのRAINBOW ～福島を応援～



2019年 研修委員会

SDGs研修会



2018年 青少年委員会

親子で発見！西宮の魅力体験ツアー

フォトギャラリー

Photo gallery

西宮青年会議所の活動



2016年 国際委員会

JCI Dragon & JCI Nishinomiya
JOINT PROJECT



2020年 創立70周年記念事業

西宮花火大会2020
-わすれない、いま私たちにできること-

2017年 研修委員会

研修委員会からの挑戦状



2019年 総務委員会

2016年 青少年委員会

KIDSジャーナリスト募集
～平和を伝えるのは君だ～



2018年 まちづくり委員会

西宮花火大会2018 愛のあるまち西宮

2019年 総務委員会

函館JC・西宮JC
姉妹LOM締結10周年



2015年
創立65周年記念式典・祝賀会





スタジオキャスト 百面相

Expressions of the casts in the studio



1 オープニング

撮影開始直前になり、黙々と番組配信に備える司会の加納永美子さんと、緊張で体が硬直する五味岡理事長。



2

創立の歴史
現在までの活動
海外姉妹JC
国内姉妹JC



スマートフォンで、配信される画面とスタジオを見比べ不備がないかをチェックする岩本専務理事。



記念品を持って待機する岩本副理事長



3 歴代理事長への感謝状贈呈

束の間のブレイクタイムを、歴代理事長との思い出話で盛り上がる。



4 2020委員長(ダイハード)

2020年度の委員長たちが渾身の演技でお伝えしたこれからの西宮青年会議所。出演者の1人の藤田委員長はスタジオから見守る。



5 エンディング

最後のご挨拶を終え、エンドロールが流れる中、スタジオは無事に収録部分を完了し、自然と拍手が上がる。



モニュメントの贈呈

Presentation of a monument

モニュメントの贈呈



想いをつなぐ

阪神・淡路大震災から25年目を迎えた2020年。

当たり前の日常が変わってしまったあの日のことを風化させないために、当時を知らない世代に震災の恐ろしさを伝え、今後訪れる大きな自然災害に備える意識をもっていただきたいという想いから「西宮花火大会2020～忘れない、いま私たちにできること～」を開催し、西宮市内の犠牲者数と同数である1,146発の花火を打ち上げました。

そして、奇しくも同年、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって私たちの日常は変化を余儀なくされることになりましたが、変化を受け入れる時、人は新たな一步を踏み出します。

共創により新たな価値を生み出す持続可能な未来に向かって。

たとえ困難が訪れたとしても、前を向くことで果てしなく広がる空が見えるように、記念碑を建立します。

西宮青年会議所創立70周年記念碑 除幕式:2020年12月19日 場所:海辺の道公園(新西宮ヨットハーバー隣)

編集後記

Editor's note

70周年記念誌をお読みいただきありがとうございます。

6月に開催を予定していた70周年記念式典が、新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止となり、どのような形で、西宮青年会議所の節目の年を記念し、70年間を振り返ることができるかを検討する日々が続きました。

そんな中で70周年を記念する特別番組を10月29日に配信するということが決まり、「せっかくなら今までの記念誌にはない作り方をしよう!」という想いのもと、今回の動画と融合した記念誌発刊となりました。

70周年記念誌では、10月29日に配信した周年特別番組と連動し、裏側にふれられるような構成とするためにQRコードを各ページに配置し、記念番組当日の映像や裏側を見られるような形式としました。

通常であれば記念式典までに皆様のお手元に届けていたのですが、今回は記念番組との連携ということもあり、記念番組配信後の送付となったことご容赦ください。

当日見られた方も、残念ながらライブではみるることができなかった方にも楽しんでいただける内容となっていると自負していますので、ぜひスマートフォンを片手に新しい形の周年記念誌を楽しんでいただければ幸いです。

最後になりますが、どんな無茶なお願いにも快く対応してくれた青木副委員長、破天荒なメンバーをちゃんとまとめてくれた河田運営幹事、ムードメーカーとして委員会を盛り上げてくれたザ・破天荒高橋委員、金沢から何回も電話して勇気づけてくれた屋宜委員、広報委員会のボディーガードとしていつも見守ってくれた宮本委員、的確な意見をいつもくれる火の玉ストレート川村委員、やる時はやる男のらりくらしバイセン山下委員、

こんな愛すべき委員会メンバーと70周年の記念誌を作成することができて幸せでした。

広報委員会 委員長 二橋 俊輔

2020年代運動指針骨子

Policy of our activities of the 2020s

いつの世も率先して行動するJCであるために 2020年「地域社会との共創」を実現する団体へ

はじめに

この2020年代運動指針骨子は、2020年代という新たな時代のキーワードを「地域社会との共創」とし、これを実現するJCであるために次の10年の指針をここに掲げます。

(1) 2020年代の日本

現在、わが国は他の先進国に類を見ないほどの少子・高齢化の急速な進行により人口は減少し続けています。このままでは、2020年代の日本において、経済・社会・国際などあらゆる分野において、私たち国民が現在と同じ豊かさを享受することは、極めて難しくなるでしょう。

また、地球温暖化をはじめとする気候変動は甚大な被害をもたらす災害をたびたび引き起こし、南海トラフ地震など今後30年以内に高い確率で大規模災害等が発生することが予想されています。昨今、災害が頻発し、さらに増加が見込まれる中、公助だけでなく、自助努力と地域住民同士の共助の必要性が改めて見直されてきました。自助、共助、公助の連携をさらに強め、2020年代には、災害に強い日本を実現しなければなりません。

一方で、科学技術の分野では、テクノロジーの進化により情報通信技術がさらに発達し、場所的・時間的な隔たりが解消されボーダレスな社会が生まれることにより、個と個、地域と地域、国と国の境界のあり方を変化させ、今までと違った価値観や生活様式との共存といった急激な変化を地域や私たち一人ひとりにもたらしています。2020年代には、さらなるテクノロジーの進化やデジタルデバイドの解消によって、この変化が加速していることでしょう。

そして国際社会においては、持続可能で多様性と包括性のある社会を実現する「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)が2015年9月の国連サミットで採択され、すべてのステークホルダーに対し、SDGsへの積極的な取り組みが求められています。急速な少子高齢化、人口減少に対応するためにも、目指すべき2020年代の日本のすがたは持続可能な発展を実現するものでなければなりません。

(2) 2020年代の西宮 ～文教住宅都市であり続けるために～

西宮は神戸、大阪の都市圏に位置し、高い利便性を有しながら、豊かな自然にも恵まれたまちです。「阪神間モダニズム」の中心地として多くの文化人を輩出するなど、伝統に縛られない自由な雰囲気がある一方で、歴史や文化の継承、環境保全などの市民活動も盛んです。しかし、このまちの快適な住環境を支えるこれらの市民活動の多くは、地域の高齢者が担っており、さらなる高齢化、人口減少を迎えんとする今、どのように維持していくのが課題となっています。また、西宮は文教住宅都市として、学校や学習塾・図書館など教育関連施設が多く、文化・スポーツ・レクリエーション施設も充実しています。私たち青年会議所が率先して行動することによって文教住宅都市 西宮の魅力をさらに高めてまいります。

(3) 青年会議所の役割

私たち西宮青年会議所には、このような時代の変化の中でどのような行動が求められるでしょうか。目の前には解決困難な課題や問題が山積しています。しかし、私たちは明るい豊かな社会の実現のため、常に前を向いて、社会の変化に即応しながら一つずつの課題と問題を解決していく必要があります。一人ひとりの力では小さくとも、私たちの活動を通じて地域社会と協働し、新たな価値を共創することで、問題を解決していく必要があります。そこで、私たちは、以下の取り組みを掲げます。

市民・まち・国・世界と西宮青年会議所

(1) 市民・まちと西宮青年会議所

時代の変化に即応し、時代のニーズにあった運動を展開することで、市民から西宮青年会議所への信頼を獲得し、青年会議所運動の理念を市民へと伝えて、運動拡大を図ります。

また、自助努力や地域住民における共助の精神の必要性を常に訴えかけ、防災意識を醸成することで、今後予想される大規模災害等に対し、強靱なまちづくりを実現します。

そして、2020年代において加速度的に進化する科学技術に対して率先して理解を深めるとともに、持続可能な地域社会の創造のために積極的な活用を行い、地域社会との協働と共創を実現し、社会課題の解決に必要な新たな運動を展開します。

(2) 日本・世界と西宮青年会議所

西宮は兵庫の中にあり、近畿、そして日本の中にあります。西宮市民は常に西宮以外の地域からも影響を受けながら生活しております。私たちは、西宮を含むより大きな地域へ働きかけるという視点を持ち、兵庫、近畿、日本、そして世界に対して青年会議所運動を拡大します。

特に、この先10年においては、科学技術の発達により物理的・言語的な距離が縮まりボーダレス化が進むことが予想され、日本と世界との距離が激変する中において、常に運動を先導することで、持続的に成長する国、そして西宮をより良いまちへと成長させます。また、国連において採択されたSDGsを、よりよい社会を実現するための道しるべとし、明るい豊かな社会の実現のため、これまで以上に推進します。

おわりに

私たちが上記指針に基づいた行動と事業を展開すれば、おのずと西宮市民から必要とされる存在となり、地域社会との信頼関係が構築され、新たな価値を共創する団体となります。この激動の時代の中、勇気と自信をもってJC運動を積極展開していきましょう。変化が激しく予想することが難しい新たな時代が目前に迫っている今こそ、私たちが今まで以上に活動を積極展開する意義があるのです。



Junior Chamber International Nishinomiya
一般社団法人西宮青年会議所

創立70周年記念誌

発行日 2020年12月
編集 一般社団法人西宮青年会議所 70周年実行委員会
発行者 一般社団法人西宮青年会議所
〒662-0854 兵庫県西宮市植塚町3-5 TEL:0798-33-1615 FAX:0798-26-5202